

平成24年度

# 学校評価報告書



帝塚山高等学校

# 1. 学校評価総括

## 建学の理念

「国家・社会の負託に応える有為の人材を育成する」

## 教育目標

個性、特性を伸ばし、「知の力」「情の力」「意志の力」「躯幹の力」をバランスよく鍛え、高い知性と豊かな情操を備えた生徒を育成する。

## これまでの成果と課題

平成23年度は、生徒による全教員を対象とする授業アンケートを実施し、生徒の意見も参考にしながら具体的目標に取り組んだが、平成24年度は授業アンケートに加え、高校2年生の保護者を対象にアンケートを外部業者に委託して実施し、保護者の意見も参考にしながら具体的目標に取り組んだ。

| 本年度の重点目標        | 具体的目標   | 総合評価   |
|-----------------|---|--|
| 個性を伸ばす教育の実践     | 1. コース制教育の改善<br>2. 進路指導の充実<br>3. 学力をつける授業の創造<br>4. 国際理解教育の充実<br>5. 情報教育の充実<br>6. 安全管理の充実<br>7. 学校環境衛生の管理<br>8. 施設・設備の充実 | 保護者アンケート（学校評価）に関しては、以前までは中学だけの実施であったが、外部入学生も含めて、高校2年生保護者を対象に実施した。中学校と同様に外部委託により客観的データが確認され、保護者に報告することができた。高等学校でも研修会を行い日常の教育活動に活かすことができた。 |
| 入学志願者・入学者の安定的確保 | 生徒募集広報の充実   |  |
| 教育の意識改革・行動改革の実施 | 1. 校務分掌の整理<br>2. 教師の生徒統率力の充実<br>3. 教員組織の改革<br>4. 学校評価制度の導入<br>5. 教員評価制度の導入  |  |

## 2. 教育活動に関する評価

| 具体的目標・具体的方策                | 評価指標  | 自己評価 |
|----------------------------|---|------|
| <b>建学の理念に基づく教育目標 教育計画</b>  |   |      |
| 教育目標の設定                    | 学校教育目標を保護者会、育友会総会などで伝えている                         | A    |
| 教育計画の作成                    | 学級経営案、教科計画案、行事計画案を作成し、実行している                      |      |
| 教育課程の編成                    | 大学入試の実状と動向をふまえ、かつ、中学・高校の募集にも生かされるよう工夫と改善をしている     |      |
| 教育活動の評価                    | 学級経営や授業経営が安定した内容でなされている                           |      |
| <b>教科指導</b>                |   |      |
| 学習指導計画の立案                  | 年間カリキュラム、教科シラバスを作成し、実行している                        | B    |
| 学習内容の精選                    | 学習の重点項目を決定し、その目標に合致した授業を行っている                     |      |
| 指導方法の工夫改善                  | 生徒の学習意欲を高めるため、実験や具体的に体験できる授業を展開している               |      |
| 評価                         | 定期考査での評価、実力・模擬テストの実施による客観的評価を生徒・保護者に正確に伝わるようにしている |      |
| <b>特別活動 道徳教育 総合的な学習の時間</b> |   |      |
| 指導計画の立案                    | 年間を通したホームルームの時間の確保により、見通しを持った授業計画をしている            | B    |
| 学級活動・学級経営                  | 生徒が主体的に動き、各係がその役割を遂行できるよう指導している                   |      |
| 学校行事                       | 学校行事の計画と準備ができ、具体的かつ実質的に動けるよう働きかけている               |      |
| 生徒会活動の活性化                  | 生徒会役員を選出方法の工夫と活動内容の整理で活動しやすい組織としている               |      |
| クラブ活動の活性化                  | 各クラブの到達目標を設定し、クラブを継続できるよう意欲を高めている                 |      |
| 道徳教育                       | 具体的資料を用いて授業を進めている                                 |      |
| 総合的な学習の時間                  | 教科書以外の資料を用いたり体験学習をとり入れて授業を行っている                   |      |
| <b>人権教育</b>                |   |      |
| 人権教育指導計画の立案                | 年間指導計画に基づき、ホームルーム・学年集会・授業を進めている                   | A    |
| 学習内容の精選                    | 各学年に応じた目標設定に見合うよう内容精選に努めている                       |      |
| 指導方法の工夫改善                  | 資料や実例をもとにホームルーム等で展開しやすくなるように工夫している                |      |

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

| 具体的目標・具体的方策   | 評価指標                                  | 自己評価 |
|---------------|---------------------------------------|------|
| <b>生徒指導</b>   |                                       |      |
| 組織的な生徒指導      | 校則や社会の決まりをしっかりと理解している                 | A    |
| 問題行動の指導       | 事象の内容を正しく認識できるよう適切な指導をしている            |      |
| 教育相談・生徒理解指導   | 生徒理解に努め、不安や悩みに積極的な対応をしている             |      |
| 家庭との連携        | 保護者との連携を密にしている                        |      |
| 関係諸機関との連携     | 必要に応じ、関係諸機関とも連携をとっている                 |      |
| <b>進路指導</b>   |                                       |      |
| 組織的な進路指導      | 進路状況の確認をするため、頻繁に会議等をもっている             | A    |
| 勤労観・職業観に関する指導 | 自分の将来像を描かせることで、具体的な方向性を見い出せるように指導している |      |
| 指導方法の工夫改善     | 進路講演会などを積極的に実施している                    |      |
| 進路指導          | 学級担任、教科担任及び進路担当者との面談を頻繁に実施している        |      |
| 家庭との連携        | 面談の機会を多くもち、家庭との連携を強化している              |      |
| 関係諸機関との連携     | 県内の国公立、私立学校と連携がとれている                  |      |

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

### 3. 学校経営に関する評価

| 具体的目標・具体的方策       | 評価指標   | 自己評価 |
|-------------------|--|------|
| <b>組織運営</b>       |  |      |
| 校長のリーダーシップ        | 建学の精神と教育目標の周知徹底をはかる                                    | B    |
| 学校経営目標・方針         | 個性、特性を伸ばし、「知・情・意志・躯幹の力」をバランスよく鍛え、高い知性と豊かな情操を備えた生徒を育成する |      |
| 教職員の適正配置と運営への参加意識 | 教職員の学校運営への参加意識を高める人材の配置をおこなう                           |      |
| 校務分掌等の連携          | 各部署ごとの話し合いを徹底し、組織としての連携がなされている                         |      |
| 会議の運営と位置づけ        | 課題の検討と取り組みが十分なされ、校長の諮問機関としての役割が果たされている                 |      |
| 会議の結果             | 討議された結果が学校運営や教育活動にしっかりと生かされている                         |      |
| 職場の人間関係           | 管理職と学年や学級、および各コースとの連携が円滑に行われ集団としての力を発揮できている            |      |

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

| 具体的目標・具体的方策    | 評価指標   | 自己評価 |
|----------------|--|------|
| <b>研究・研修</b>   |  |      |
| 研修の組織・計画・実施    | 研究テーマに沿った研修が計画的に実施されている                      | B    |
| 校内研修           | 校内研修における成果が、日常の教育活動に生かされている                  |      |
| 授業研究           | 互見授業を含む授業研究により教員の指導力が向上している                  |      |
| 校外への研修の参加      | 各種研修会への積極的な参加により、教員の教育力が向上している               |      |
| 研修成果の普及        | 研修成果を教員間で広めたり、深めたりすることで教員相互の教育目標を高めることができている |      |
| <b>安全管理</b>    |  |      |
| 学校安全計画の立案      | 学校安全計画を立てることにより安全管理体制を徹底している                 | A    |
| 学校防災計画の立案      | 学校防災計画を立て、定期的に防災避難訓練を実施している                  |      |
| 危機管理体制の整備      | 危機管理マニュアルを作成し、全教職員に管理体制を徹底している               |      |
| 安全指導の工夫改善      | 校内・校外及び登下校時における安全指導をおこなっている                  |      |
| 家庭との連携         | 校内での事象や校外における情報について家庭と連絡を密にしている              |      |
| 関係諸機関との連携      | 県・市における関係諸機関との連携を強化している                      |      |
| <b>保健管理</b>    |  |      |
| 学校保健計画の立案      | 学校保健計画を立て、計画通りに実施している                        | A    |
| 心のケアや健康相談体制の整備 | 保健室や教育相談室との連携で生徒の相談にあたっている                   |      |
| 健康観察、健康管理能力の育成 | 生徒の日常生活を観察し、ケガ・病気等の予防に関する指導をしている             |      |
| 関係諸機関との連携      | 保健所、学校医、医療機関等との連携体制を整えている                    |      |
| 食堂の衛生管理        | 生徒指導の食堂委員会や保健室と食堂の連携により衛生管理につとめている           |      |

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

| 具体的目標・具体的方策     | 評価指標                              | 自己評価 |
|-----------------|-----------------------------------|------|
| <b>地域との連携</b>   |                                   |      |
| 学校情報の発信         | ホームページや学園新聞を通して情報の発信をおこなっている      | A    |
| 授業公開            | 授業参観を定期的に行っている                    |      |
| 家庭との連携          | 地域住民や保護者と連携することで、学校に対する協力を得ている    |      |
| 育友会・体育文化後援会の活性化 | 育友会・体育文化後援会と学校が結びつきを強めた協力体制がとれている |      |
| 校種間連携           | 学園の幼稚園・小学校・大学との連携がなされている          |      |
| 学園評議員           | 学園評議員より十分な協力関係を得ている               |      |
| <b>施設・設備</b>    |                                   |      |
| 教育環境の整備         | 環境整備のための点検が常におこなわれている             | B    |
| 施設設備の有効利用       | 施設設備が有効的に利用されている                  |      |
| 施設設備の管理         | 施設設備が安全に管理されている                   |      |
| <b>情報管理</b>     |                                   |      |
| 公文書の収受、保管       | 公文書の受付および整理保管がなされるような体制がとられている    | A    |
| 公文書の作成          | 公文書が適正に作成される組織作りがなされている           |      |
| 個人情報の保護、管理      | 生徒の個人情報の保護、管理が周知徹底されている           |      |
| 情報の収集           | 各種情報がスムーズに収集できる対応をしている            |      |
| <b>募集活動</b>     |                                   |      |
| 募集活動の計画・実施      | 年間を通して募集活動を計画通りに実施している            | A    |
| 入学試験の立案と運営      | 入学試験の立案、要項作成及び運営には全教員がしっかりと関わっている |      |
| 関係諸機関との連携       | 関係諸機関との連携を強化し、募集活動の成果が上がる工夫をしている  |      |

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】